

社教連会報

発行 一般社団法人 全国社会教育委員連合

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6
日本弘道会ビル7階 TEL 03-6380-8540

全国社会教育委員連合の皆さまへ

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長 筒井公章

全国社会教育委員連合の皆様、はじめまして。令和4年7月から国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長を拝命した筒井公章です。

以前は、文部科学省社会教育課で公民館担当をはじめ、学校支援地域本部（現…地域学校協働活動）の立ち上げを行いました。久しく社会教育の世界から離れており、十数年ぶりに社会教育行政を担当することになりましたが、以前にお世話になった大学の先生方や社会教育関係者の方々から「お帰りなさい」という心温かい言葉をいただきました。改めて「センター長」というプレッシャー

を感じながら業務をこなす日々が続いています。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に我々の社会生活は急速に変化し、密を回避するための「新しい生活様式」が浸透するとともに、人々の新しいライフスタイルが定着しました。また、人生100年時代（Society5.0、DX（デジタルトランスフォーメーション））の急速な進展など、急速な変化を続ける社会においては、生涯学習・社会教育の役割も、従来の枠にとどまらず、時代・社会の変化に見合ったものに変化が求められています。

一方、昨今の政府の政策的動向に

共通してみられる傾向としては、国民の生活基盤である「地域コミュニティ」に着目した施策として「福祉・農村振興・防災等」が展開されており、これらの施策においては、生涯学習・社会教育との連携を深めることが重要であると提言されています。

こうした多様な主体と生涯学習・社会教育との連携・協働が求められている状況下では、地域住民による学びの成果を地域課題の解決やまちづくりにつなげていくことができる実践的な能力を持つ社会教育主事や社会教育委員の方々は必要不可欠な人材であります。

当センターでは皆様方と連携して、各地域の地域コミュニティの活性化に向けた社会教育活動、地域住民の方々の学習活動・学習方法、地域課題の解決やまちづくり等を支援できるよう努めてまいりたいと思います。

最後に、久しく社会教育から離れておりましたが、縁あってこの職に就かせていただいたこともあり、社会教育を盛り上げたいと思っています。皆様からご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



筒井 公章
(ついでに、まさのり)

■プロフィール

平成10年4月に文部省へ入省。奈良教育大学会計課長、文部科学省生涯学習政策局政策課調査統計企画室室長補佐、横浜国立大学研究推進課長（独）国立青少年教育振興機構総務企画課長、社会教育実践研究センター企画課長を歴任し、令和4年7月より現職。

北から南から

ホップ！ステップ！
ジャンプ！

静岡県社会教育委員連絡協議会

会長 中嶋 るり子



今回、「北から南から」への寄稿依頼を受けまして、さて何を書けばよいのだろうと悩みに悩んだ末、今自分が思っていることを書かせていただきますので、お読みいただければ幸いです。

「社会教育とは？」「社会教育委員って何をすればいいの？」社会教育委員会が必ずと言っていいほど委員の皆さんが口にされる言葉です。私も初めて社会教育委員会に出席をした時、別に社会教育委員にならなくてもすでに色々活動をしており

ましたので同じような質問をさせていただきますました。

社会教育法や教育委員会への提言、諮問、答申等社会教育課から説明をしていただいたことが懐かしく思い出されます。

今会長として最初の総会で委員や行政の皆様にお話しさせていただいたのは、社会教育委員の認知度の低さ、社会教育が広範囲に及んでいること、理解するのが難しいということなので、できるだけ誰にでもわかるような易しい言葉で説明したいということなどをお話しました。

社会教育の範囲の広さは、自分たちの置かれている社会すべてに及ぶと言っても過言ではないと思います。社会教育委員お一人お一人は様々な団体に所属し、活発に活動をされています。そんな委員の集まりの委員会なのです。委員会として何かできないものかと常日頃からずっと思っていました。

そんな時、県内市町の吉田町社会教育委員会がプラットフォームなるものを立ち上げました。

その目的は、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、地域で子どもたちを育む必要があること、子どもたちに関わる社会教育

関係団体が、相互に連携協力することと子どもたちを健全に育むと同時に、それぞれの団体同士が結びつくことによって、お互いの問題解決ができるのです。

そして、「つながろうよしだ」を実施しています。社会教育委員会が提案し、行政を始め関係の団体に参加を呼びかけ社会教育フェスティバルを企画し活発に活動しています。まさに私が思い描いていた活動でした。また、掛川市社会教育委員会も活動する社会教育委員を目標に、家庭教育に目を向け提言をし、教育委員会の諮問に対しての調査研究を行い、答申をしました。

私の地元菊川市の委員会も、初めて冬休みに子供たちの勉強会を企画し実施しました。教育委員会、学校のご協力を得て、当日委員たちは子供たちを見守り、一緒にトランプ、カードゲームなども楽しみました。もしかしたら一番楽しんだのは委員たちだったのかもしれない。

今多くの社会教育委員会が、自分たちの立ち位置を自覚し、委員会として動くようになってきているように嬉しいことです。今年も大いに躍動しジャンプしましょう！

社会教育の明日を拓く

社教情報 No.87

特集テーマ 地域防災と社会教育

《巻頭言》 地域の多様な主体と連携・協働した防災教育の推進を

文部科学省総合教育政策局 森本 晋也

《特集》 藤野 真一郎、吉門 直子、増田 恵美子、諏訪 清二、野々村 敦子

《この人に聞く》 加藤 篤氏 取材 清國 祐二

《思考と提言》 緊急提言をふりかえって－社会教育を止めるな！の共通意識－ 雲尾 周

《社会教育委員の活動》 木暮 照正（福島県）・木本 圭子（福岡県）

《答申・提言》 和光市社会教育委員会議「和光市における学校・家庭・

地域の連携・協働を支える社会教育の役割について」（答申）

細川 恵夢

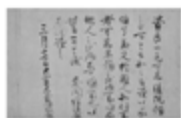
《社会教育委員Q&A》 地域学校協働活動の推進

神部 純一

編集・発行 （一社）全国社会教育委員連合

社教情報

No.87



社会教育委員の 在り方について問う

熊本県社会教育委員連絡協議会

会長 安部 武夫



人の一生には限りがあるが、命は祖先から我々に、そして子孫へと受けつがれて、無限につながっていく。そのような大切な命をつなぎ、輝かせていくために、私たち社会教育委員はどうあるべきだろうか。

ところで、子供が不安を感じたとき、親に抱きしめてもらうことができれば、子供は安心を確認することができると。体から湧き上がってくる感情を受け止めてもらう体験を重ねること、子供は安定的な感情と折り合い方を学んでいくの

だ。ところが、それを表に出せない子供は、感情をコントロールする方法を体得する機会を失ってしまう。

その結果、いじめや引きこもり等につながりかねない。子供を育てる親を支えることは、子供の未来はもとより、地域社会の未来を輝かせていくことになるであろう。

教育の出发点は家庭であるが、地域の力でも、子供たち、若者たちを支えることができる。一人一人のちよつとした思いやりが、子育て中の親を励まし、元気づけ、大きな子育て支援になる。地域の教育力の向上は、家庭の教育力の向上につながり、地域の子供を育てることになる。地域全体が地域の子供たちに本気で関わり、子供たちが自分の未来や大人になることに夢や希望を持てるような社会を創造することこそ、社会教育の果たすべき役割と言えるのではないだろうか。

地域において、日頃から子供たちを温かく見守り、励まし、時には注意するなど、より多くの人々が心を

寄せて支援していくことが重要である。また、すべての子供たちに体験や読書の喜びを与える活動をもっと提供すべきである。

社会教育委員には、教育委員会に對して、社会教育に関して意見を述べる役割がある。しかし、教育委員会の求めに応じるのみの受動的な態度では、その基盤が揺らぎかねない。私たち社会教育委員一人一人が自ら考え、思いを語り合い、皆で地域社会を作っていくとする気概をもつて活動に臨んでいくとともに、「人づくり、つながりづくり、地域づくり」に向け、できるだけ多くの人を巻き込んでいくことが必要であると考えてる。



—改訂版—

社会教育委員のためのQ&A



A5判 定価1,320円(税込)
企画・編集／
(一社)全国社会教育委員連合
発行／(株)美巧社

社会教育委員 必読の一冊

2014(平成26)年8月26日改訂

主な内容

社会教育と生涯学習
「諸計画を立案する」とは
教育委員会への助言の方法
「環境を醸成する」とは
都道府県教育委員会の事務
「公の支配に属しない」とは

「組織的な教育活動」とは
「諮問に応じ」とは
社会教育委員制度の活性化
市町村教育委員会の事務
「社会教育を行う者」と社会教育委員
「専門的技術的指導又は助言」とは

第64回全国社会教育研究大会広島大会を終えて

令和4年10月27日から28日にかけて、広島国際会議場において、第64回全国社会教育研究大会広島大会を開催いたしました。

広島大会の開催にあたっては、3年程前から準備委員会を設立して協議を始め、その後、県内市町の社会教育委員の代表者や行政職員から構成する実行委員会を組織し、鋭意準備を進めてきました。

その間に開催された全国大会においては、規模を縮小したりオンラインやオンデマンドに切り替えたりと、開催方法や期間を変更せざるを得ない状況が続いておりました。

このような状況の中ではありましたが、広島大会は集合・対面による通常開催を目指して御案内させていただき、感染症対策を徹底した上での開催に至りました。日々刻々と状況が変わる中、皆様の御支援・御協力のもと、全国各地からたくさんのお客様の方々に御参加いただきましたことに感謝いたします。

大会当日の様子ですが、開会行事前のアトラクションでは、広島県北

広島町の演劇グループ「劇団くむくむ」によるオンラインお芝居「オオサンショウウオのみどりのサンちゃん」の動画を上映しました。

この劇団には、町の社会教育委員が深く関わり、子供たちと一緒に楽しめる活動を行っています。紙芝居と演技を組み合わせたオンラインお芝居の上映をとおして、様々な社会課題について、考えることができました。

開会行事後の記念講演では、株式会社サンフレッチェ広島 代表取締役社長 仙田信吾氏から「広島サッカーの軌跡／百万一心の精神でつくる広島の未来」と題して、御講演をいただきました。

講演では、広島県の復興の礎にサッカーがあったことや、現在建設中の新スタジアムとともにこれから歩む広島県の地域づくりや街づくりについて、その思いを熱くお話ししていただきました。

その後のシンポジウムでは、大会の研究主題である「これからの時代を見据えた学びのデザイン／ニュー

ノーマル時代における社会教育の在り方」について、4名のシンポジストを迎え、参加者とともに考えていきました。

シンポジストの小田圭介氏からは、参加者が主体となって活動を行う「何にもしない合宿」について、平尾順平氏からは、「ひろしまシン大学」の取組について、山崎瑞穂氏からは、親学ファシリテーターとして家庭教育支援の取組について、藤田昌也氏からは、山口県内の学校と地域の連携・協働を中心に事例を提供していただきました。そして、テーマに対する思いや考え、今後の展望等について、意見を交流しました。

最後にコーディネーターの志々田まなみ氏からは、「コロナ禍における社会教育の地道な取組の中で、今後、何ができるのかを考えて、それぞれ実践していきましょう。」とお話がありました。

翌日の分科会では、「地域学校協働活動による地域力の向上」、「家庭教育支援・子育て支援の充実」、「人生百年時代を見据えた社会教育の在

り方」、「社会構造の変化に伴う社会教育施設の役割」の4つのテーマについて、学びを深めました。

各分科会では、コーディネーターの進行のもと、2つの取組事例を発表していただき、質疑応答や意見交流を行いながら、社会全体が急速に変化する中で、これからの社会教育の在り方や具体的な方向性について、学び合うことができました。

全国の社会教育委員の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様、広島大会へ御参加いただき、誠にありがとうございました。

第64回全国社会教育研究大会広島大会

実行委員会委員長 林 孝



ご案内

第65回全国社会教育研究大会宮崎大会 第53回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会 令和5年度宮崎県社会教育委員研究大会

つなぎ・つながり・つなげよう！未来へのたすき！！
～日本のひなた宮崎からはじまる明日の社会教育～

かつて日向国と称された宮崎県は、燦々と太陽が降り注ぎ、秀麗で緑深き九州山地や霧島連山、清らかな河川が潤す宮崎平野、黒潮寄せる雄大な日向灘、そして温暖な気候と、自然に恵まれた風土にあります。また、日本発祥にまつわる日向神話の舞台である、この宮崎の地から、全国の社会教育委員をはじめとする社会教育関係者が一堂に会し、学び合い、語り合う本大会を通して、未来につながる明日の社会教育について発信できると考えています。

さて、現代社会において、少子化や核家族化等による地縁的なつながりや地域コミュニティの衰退を受けて、地域住民が主体となった地域の課題解決や地域の活性化がこれまで以上に求められる中、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりが極めて重要になっています。また、人生100年時代やSociety 5.0などの社会変化、そして、今般の新型コロナウイルス感染症への対応を受けて、住民相互のつながりや多様な主体との連携・協働など、つながりを生かした社会教育を通じて、誰もが生きがいを感じられる地域社会の実現が求められています。

そこで、本大会のテーマを「つなぎ・つながり・つなげよう！未来へのたすき！！」とし、「つながり」をキーワードに、全国各地の「つながり」を生かした社会教育の実践を、本大会を通して共有し（つなぎ）、実践が各地に広がり（つながり）、そして、それらの実践が引き継がれ（つなげよう）、将来にわたって誰もが生きがいを感じ、笑顔があふれる地域社会の創出につながる大会にしたいと考えています。

宮崎県社会教育委員連絡協議会会長

第65回全国社会教育研究大会宮崎大会実行委員長 井崎 高信

◇大会の概要

- 1 研究主題 笑顔あふれる地域を創る社会教育の実践
- 2 期 日 令和5年11月8日（水）～10日（金）
- 3 会 場 〈全体会場〉宮崎市民文化ホール（宮崎市花山手東3丁目25-3）
〈分科会場〉宮崎市民文化ホール、ニューウェルシティ宮崎、宮崎市民プラザ
- 4 大会日程

第1日 11/8 (水)	15:00 16:30 17:00 18:15									
						全国社会教育 委員連合 理事会		都道府県・政 令市社教連等 事務局担当者 会議		
第2日 11/9 (木)	9:00	10:00	11:30	12:30	13:00	14:00	15:30	17:00	17:10	
	九州ブロッ ク社会教育 委員連絡協 議会理事会	全国社会教育 委員連合 総 会	受付 分科会 打合せ	ア ト シ ョ ン ク	開 会 行 事	特 別 対 談	シ ン ポ ジ ウ ム	開 会 行 事		
第3日 11/10 (金)	9:00	9:30	12:00							
	受 付		分科会 (5分科会)							

5 分科会

	テーマ	討議の視点
1	学校・地域の連携・協働	学校と地域の連携・協働による多様な活動の充実について
2	家庭教育支援	地域ぐるみで家庭教育を支える環境づくりの推進について
3	高齢者と社会教育	高齢者の力を社会参画に生かし、人生100年時代を支える社会教育の在り方について
4	地域の活性化	地域課題を解決し、にぎわいを創出するための社会教育の在り方について
5	社会教育委員の役割	人と人をつなぎ、心温かなコミュニティを形成するための社会教育委員の役割について

- 6 大会参加費 5,000円／人（大会資料代）

令和4年度 地区別社会教育研究大会

社会教育がもたらす地域づくり

10月14日、1日日程ではありましたが第61回北海道社会教育研究大会（留萌大会）を開催しました。感染症拡大防止のため、この2年間、延期、そして誌上開催を余儀なくされましたが、留萌大会実行委員会（8市町村）は、「コロナ禍でも学びを止めない」を主眼に初のオンライン開催に挑戦。拠点会場を羽幌町中央公民館におき400人の参加者を得ることができました。

午前は、開会式・表彰式後、広島県大竹市玖波公民館河内ひとみ氏の特別講演、北海道医療大学准教授長谷川聡氏の基調講演をLIVE配信。

午後は、4つの分科会でZoomにより各市町村会場と結び活発な意見交換が行われました。



Zoomによる分科会の様子

皆様の参加とご協力に感謝申し上げますとともに、本大会の学びがそれぞれの地域づくりに役立てられることを心から願っております。

北海道社会教育委員連絡協議会

会長 岩野 真志

東北地区

継承と創造による持続可能な社会の在り方、新たな時代の地域コミュニティを目指して

令和4年度東北地区社会教育研究大会福島大会は、10月13日、14日の2日間、いわき市文化センターを会場に開催しました。コロナ禍を考慮し、県内は参集、県外はリモートでの参加を原則とし、分科会のオンライン配信を加えたハイフレックス方式での実施となりました。全体会のZoomライブ配信、分科会の視聴者を含め、2日間で延べ800名を超える多くの方に参加していただくことができました。開会行事のアトラクションは、開催地いわき市の郷土芸能である「じゃんがら念仏踊り」とフ



ラシテイいわきとして有名な「フラダンス」が披露されました。記念講演では、ダルライザーブランニング代表の和知健明氏から「ご当地ヒーローが叶える持続可能な街づくり」という演題で、地域のよさを大切に地域の方々との目的を共有し、協働して地域づくりに取り組む実践について講演をいただきました。

大会2日目の分科会は 対面の良さを生かし、会場の参加者と意見を交えながら、活発で有意義な協議が行われました。（11月からYouTube）

様々な課題を抱えながら準備を進めてきましたが、多くの皆様からの支援と協力により、新たな時代に向けた新方式での大会運営を成功裏に終えることができました。心より感謝申し上げます。

福島県市町村社会教育委員連絡協議会

会長 神山 敬章

関東地区

人を結ぶ これからの社会教育

～語りつづ 甲斐の国やまなしで～

第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会は、11月10日（木）11日（金）の2日間、甲府市総合市民会館を全體會場に、約100名のライブ参加を含め約670名の参加を得て開催

いたしました。感染症の第8波が懸念される中、最後まで難しい判断の連続でしたが、3年ぶりに通常開催で実施することができました。

全体会は、若い力が躍動した甲府商業高等学校ソングリーダー部の歓迎アトラクションで幕を開け、元ソフボール女子日本代表監督の宇津木妙子氏による記念講演は、会場全体に大きな感動を与えました。続くシンポジウムでは、県内で活動する団体から、高齢者、産後の母親、子どもたちを対象とした実践報告がされ、大会のメインテーマ「包摂的社会的実現」に迫りました。

翌日の分科会では、それぞれのテーマを「ひとづくり」「つながりづくり」「地域づくり」「生涯学習」「社会的包摂」とし、群馬県、栃木県、茨城県、さいたま市、山梨県の事例発表をもとに、研究討議を行いました。

コロナ禍にあつて、つながり合うことの尊厳を改めて実感するのと同時に、多くの方々の御尽力のもと、チーム山梨で臨



んだ大会となりました。

山梨県社会教育委員連絡協議会

会長 塩島 明美

東海北陸地区

愛つなぐ。知ひらく。

「誰人として取り残されることのない地域社会をつくる」

第53回東海北陸社会教育研究大会愛知大会を、10月13・14日に愛知県知事をはじめ多数の来賓を迎えて、東海市芸術劇場で開催しました。大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加を会場とオンラインによるハイブリッド方式で実施し、約900名の参加がありました。

本大会は、新型コロナウイルス感染症を契機に、地域社会におけるつながりの大切さを再認識する中、包摂性のある誰一人取り残されることのない、持続可能な地域社会づくりをめざし、社会教育が果たす役割について研究協議を行いました。

一日目は、七福神が舞い込むというめでたい内容である「御



殿万歳」で始まり、記念講演として、

南医療生活協同組合代表理事の成瀬

幸雄氏から、医療を通し、地域を巻き込んだ包摂的な街づくりをめざす

取組について、話がありました。

二日目は、5つの分科会に分かれ、

6県1市の研究実践が発表されました。協議では、社会教育が果たすべき役割について、参加者による意見

交換が活発に行われました。

本大会に御参加・御協力いただきました皆様は、この場をお借りして

改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

東海北陸社会教育委員協議会連合会

会長 石黒 清介

近畿地区

『人と人、人と地域を結ぶ、社会教育！』

～変化する社会に期待される社会教育をめざして～

令和4年度近畿地区社会教育研究

大会奈良大会が、9月2日になら

100年会館とホテル日航奈良で3

年ぶりに対面で開催できました。ま

た、当日の様子を録画し、オンデマ

ンドで12月24日～1月15日の期間で

限定公開しました。

当日は、金藤ふゆ子文教大学教授

により、「社会教育には今、何が期待

されているのか」と題して基調講演

をいただきました。また、分科会では、「青少年教育」「地域づくり」「ボランティア」「学校・家庭・地域の協働」「人権教育」をテーマとし、実践

事例の発表とそれに対する有識者による助言をいただきました。コロナ禍を経た本大会において私たちは、改めて、人と人のつながり、人と社会の

つながりの大切さを実感することができました。開催に当たり御協力いただきました皆様、並びに御参加いただきました皆様は心から感謝申し上げます。今大会で触れていただいた

それぞれの地域の特性や実態に応じた多様な考え方や取組が、各地域における社会教育のさらなる充実・発展につながります。ことを願っております。

奈良県社会教育委員連絡協議会

会長 飯田 喜代規

九州地区

「協育」で人と人との絆を紡ぐまちづくり

～地域の持続的発展のために社会教育が目指すもの～

第五二回九州ブロック社会教育研

究大会大分大会は、大分市にて一〇

月六・七日、九州各地より約七〇〇

人の参加を得て開催されました。

一日目は、「地域コミュニティの活性化に向けた社会教育の役割」、「地域の将来を担う青少年の育成」、「地域課題の解決に向けた地域人材の育成」、「人生一〇〇年時代における高齢者の学びの在り方」の四つの分科会

会で実践事例の発表と討議を行いました。

二日目のシンポジウムでは、学識経験者・民間・行政それぞれの立場から、「地域の持続的発展のため、社会教育は何をすべきか」について、地域コミュニティの活性化や持続的発展に向けた考え方や望まれる取り組み等の提言を受け、会場からの意見も含め活発な議論が交わされました。

参加者からは、「参集して意見を交わすことの大切さを再認識した」等の感想をいただきました。今大会は三年ぶりに県外からの参集も含めたハイブリッド形式での開催でしたが、活発な議論や休憩時間等の参加

をいただきました。また、分科会では、「青少年教育」「地域づくり」「ボランティア」「学校・家庭・地域の協働」「人権教育」をテーマとし、実践事例の発表とそれに対する有識者による助言をいただきました。コロナ禍を経た本大会において私たちは、改めて、人と人のつながり、人と社会のつながりの大切さを実感することができました。開催に当たり御協力いただきました皆様、並びに御参加いただきました皆様は心から感謝申し上げます。今大会で触れていただいたそれぞれの地域の特性や実態に応じた多様な考え方や取組が、各地域における社会教育のさらなる充実・発展につながります。ことを願っております。

九州地区

「協育」で人と人との絆を紡ぐまちづくり

～地域の持続的発展のために社会教育が目指すもの～

第五二回九州ブロック社会教育研

究大会大分大会は、大分市にて一〇

月六・七日、九州各地より約七〇〇

人の参加を得て開催されました。

一日目は、「地域コミュニティの活性化に向けた社会教育の役割」、「地域の将来を担う青少年の育成」、「地域課題の解決に向けた地域人材の育成」、「人生一〇〇年時代における高齢者の学びの在り方」の四つの分科会

会で実践事例の発表と討議を行いました。

二日目のシンポジウムでは、学識経験者・民間・行政それぞれの立場から、「地域の持続的発展のため、社会教育は何をすべきか」について、地域コミュニティの活性化や持続的発展に向けた考え方や望まれる取り組み等の提言を受け、会場からの意見も含め活発な議論が交わされました。

参加者からは、「参集して意見を交わすことの大切さを再認識した」等の感想をいただきました。今大会は三年ぶりに県外からの参集も含めたハイブリッド形式での開催でしたが、活発な議論や休憩時間等の参加

をいただきました。また、分科会では、「青少年教育」「地域づくり」「ボランティア」「学校・家庭・地域の協働」「人権教育」をテーマとし、実践事例の発表とそれに対する有識者による助言をいただきました。コロナ禍を経た本大会において私たちは、改めて、人と人のつながり、人と社会のつながりの大切さを実感することができました。開催に当たり御協力いただきました皆様、並びに御参加いただきました皆様は心から感謝申し上げます。今大会で触れていただいたそれぞれの地域の特性や実態に応じた多様な考え方や取組が、各地域における社会教育のさらなる充実・発展につながります。ことを願っております。

九州地区

「協育」で人と人との絆を紡ぐまちづくり

～地域の持続的発展のために社会教育が目指すもの～

第五二回九州ブロック社会教育研

究大会大分大会は、大分市にて一〇

月六・七日、九州各地より約七〇〇

究大会大分大会は、大分市にて一〇

月六・七日、九州各地より約七〇〇

人の参加を得て開催されました。

一日目は、「地域コミュニティの活性化に向けた社会教育の役割」、「地域の将来を担う青少年の育成」、「地域課題の解決に向けた地域人材の育成」、「人生一〇〇年時代における高齢者の学びの在り方」の四つの分科会

会で実践事例の発表と討議を行いました。

二日目のシンポジウムでは、学識経験者・民間・行政それぞれの立場から、「地域の持続的発展のため、社会教育は何をすべきか」について、地域コミュニティの活性化や持続的発展に向けた考え方や望まれる取り組み等の提言を受け、会場からの意見も含め活発な議論が交わされました。

参加者からは、「参集して意見を交わすことの大切さを再認識した」等の感想をいただきました。今大会は三年ぶりに県外からの参集も含めたハイブリッド形式での開催でしたが、活発な議論や休憩時間等の参加

をいただきました。また、分科会では、「青少年教育」「地域づくり」「ボランティア」「学校・家庭・地域の協働」「人権教育」をテーマとし、実践事例の発表とそれに対する有識者による助言をいただきました。コロナ禍を経た本大会において私たちは、改めて、人と人のつながり、人と社会のつながりの大切さを実感することができました。開催に当たり御協力いただきました皆様、並びに御参加いただきました皆様は心から感謝申し上げます。今大会で触れていただいたそれぞれの地域の特性や実態に応じた多様な考え方や取組が、各地域における社会教育のさらなる充実・発展につながります。ことを願っております。

九州地区

「協育」で人と人との絆を紡ぐまちづくり

～地域の持続的発展のために社会教育が目指すもの～

第五二回九州ブロック社会教育研

究大会大分大会は、大分市にて一〇

月六・七日、九州各地より約七〇〇

人の参加を得て開催されました。

一日目は、「地域コミュニティの活性化に向けた社会教育の役割」、「地域の将来を担う青少年の育成」、「地域課題の解決に向けた地域人材の育成」、「人生一〇〇年時代における高齢者の学びの在り方」の四つの分科会

会で実践事例の発表と討議を行いました。

二日目のシンポジウムでは、学識経験者・民間・行政それぞれの立場から、「地域の持続的発展のため、社会教育は何をすべきか」について、地域コミュニティの活性化や持続的発展に向けた考え方や望まれる取り組み等の提言を受け、会場からの意見も含め活発な議論が交わされました。

参加者からは、「参集して意見を交わすことの大切さを再認識した」等の感想をいただきました。今大会は三年ぶりに県外からの参集も含めたハイブリッド形式での開催でしたが、活発な議論や休憩時間等の参加

をいただきました。また、分科会では、「青少年教育」「地域づくり」「ボランティア」「学校・家庭・地域の協働」「人権教育」をテーマとし、実践事例の発表とそれに対する有識者による助言をいただきました。コロナ禍を経た本大会において私たちは、改めて、人と人のつながり、人と社会のつながりの大切さを実感することができました。開催に当たり御協力いただきました皆様、並びに御参加いただきました皆様は心から感謝申し上げます。今大会で触れていただいたそれぞれの地域の特性や実態に応じた多様な考え方や取組が、各地域における社会教育のさらなる充実・発展につながります。ことを願っております。

九州地区

「協育」で人と人との絆を紡ぐまちづくり

～地域の持続的発展のために社会教育が目指すもの～

第五二回九州ブロック社会教育研

究大会大分大会は、大分市にて一〇

月六・七日、九州各地より約七〇〇

人の参加を得て開催されました。

一日目は、「地域コミュニティの活性化に向けた社会教育の役割」、「地域の将来を担う青少年の育成」、「地域課題の解決に向けた地域人材の育成」、「人生一〇〇年時代における高齢者の学びの在り方」の四つの分科会

会で実践事例の発表と討議を行いました。

二日目のシンポジウムでは、学識経験者・民間・行政それぞれの立場から、「地域の持続的発展のため、社会教育は何をすべきか」について、地域コミュニティの活性化や持続的発展に向けた考え方や望まれる取り組み等の提言を受け、会場からの意見も含め活発な議論が交わされました。



者の様子から、やはり、社会教育は実際に集まることが極めて大切だと改めて確認できる大会となりました。

別府公民館での取り組みや福岡市美術館でのアウトリーチ活動等の現地視察も行うことができました。ご担当者様には当会議に向けた各種資料の提出、回答等のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

会長 盛本 功爾郎

政令指定都市大会

令和4年度指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会（福岡市開催）は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、令和4年7月7日（木）・8日（金）に対面で開催されました。

審議では左記の議題1から議題3について諮られ、全ての議題について承認されました。

【両会議共通】

▼議題1 提案協議議題について

開催市で割り当てた両会議の協議議題について、各都市からの回答報告書の資料をもとに質問や意見交換を行った。

▼議題2 一般社団法人全国社会教育委員連合表彰者の推薦について
表彰候補者3名の推薦を提案した。

仙台市 高橋 満／相模原市 大橋 千景／広島市 正本 大

▼議題3 次年度の開催について

令和5年度開催市について、開催順に基づき横浜市を提案した。
3年ぶりの対面開催では、福岡市

事務局だより

担当者会議を3年ぶりに開催

第64回全国社会教育研究大会広島大会の第一日目の10月26日（水）に、都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議が3年ぶりに開催され、29県3市から42名の参加がありました。

会議は「県の社会教育委員連絡協議会の運営について」をテーマにして、最初に次の方々が事例発表をされました。

・宮崎県社会教育委員連絡協議会事務局
森崎陽介氏

福岡市社会教育委員会議議長

古市 勝也



・群馬県社会教育委員連絡協議会事務局
知久鉄平氏

発表内容は、協議会の概要、会議・研修の回数・内容、会報や手引き等の発行、ブロックの活動、社教連への期待などについて、限られた時間の中で多岐にわたるご発表がありました。事例発表を踏まえた全体討議では、①新任社会教育委員研修、②県の社会教育委員連絡協議会の表彰、③事務局の体制、④県の社会教育委員連絡協議会の構成、⑤「手引き」の作成などについて、幅広く情報や意見の交換が行われ、他県状況や事例等のお話を直接聞く機会となりました。

理事会・総会報告

●令和4年度

第2回理事会・総会の開催

令和4年度第2回理事会及び総会は、理事会在第64回全国社会教育研究大会広島大会の第一日目の10月26日（水）に、総会が二日目の10月27日（木）にそれぞれ開催されました。

理事会及び総会の議題等は次の通りで、いずれも承認されました。

【議事】

第1号議案 第65回全国社会教育研究大会（宮崎大会）について
第2号議案 第66回全国社会教育研

究大会（茨城大会）について
第3号議案 第67回全国社会教育研究大会の開催地区について

東北地区（岩手県）にて開催
第4号議案 理事の退任及び選任について

【報告】

1 会長及び常務理事の職務の執行状況について

※理事会報告事項のため総会では資料配布のみ

2 令和4年度社会教育委員活動活性化セミナー及び助成事業について

3 今後の理事会・総会の予定について

今後の会議予定

○令和4年度第3回理事会・総会

期日…令和5年3月3日（金）
時間…理事会 午前11時

総会 午後2時
会場…日本弘道会ビル（東京都千代田区西神田）

○令和5年度第1回理事会・総会

期日…令和5年5月中旬
時間…理事会 午前11時

総会 午後2時
会場…日本弘道会ビル（東京都千代田区西神田）